

第1回「夢づくりの会」では みんなでこんなことを考えました！



各班で出された意見をご紹介します(一部)

地域おこしアイデア内容	誰が	いつ	重要度	実現可能性
4班 「PR・サービス」				
ホームページで発信	2	A	ア	a
骨寺のキャラクター作り	1	A	ア	a
ガイドブックを作る	2	B	ア	a
骨寺の歴史の本を作る	2	C	イ	b
骨寺荘園の古図のPR	3	B	ア	a
6班 「特産品」				
荘園米を使ったどぶろくづくり	1	B	イ	b
水車を利用した、昔ながらのそばづくり	2	C	ウ	c
豆を植えて、自家製の味噌を作り、味噌味噌漬け販売	1	B	イ	a
荘園ブランド米の販売	2	A	ア	a
7班 「イベント」				
骨寺遺跡をめぐってオリエンテーリング	1	C	ア	b
骨寺を見つけるイベント	4	ABC	ア	b
秋に収穫祭とお月見	1	C	ア	a
気球で上空から景観を楽しむ	4	C	ウ	b
骨寺のうみん市を開催	1	B	ア	a

誰が
1 地元、2 協働
3 市、4 その他

いつ
A すぐに(H17中)
B 少しあと
(H19/世界遺産登録直前)
C 長期的に
(H20以降/ " 登録以後)

重要度
A 非常に重要
イ まあまあ重要
ウ 普通

実現可能性
a 十分可能
b 難しさはあるが可能
c かなり難しい

第1回 「骨寺村荘園の里 夢づくりの会」開催



「骨寺通信」

第9号

本寺地区地域づくり
推進協議会会報

事務局(会長宅)
一関市殿美町字若井原
(電話) 略

第2回 「夢づくりの会」 参加者大募集

日時 **12月9日(木) 午後7時から**

場所 **生活改善センター**

内容 **「アイデア実現のための計画づくり」**

申込み 各民区の区長さん協議会役員にお願いします
(12/7頃までにお申込み下さい。)

お知らせ

十一月から実施しております、保
全型基盤整備の調査のうち、高
などを測る現地調査につきま
ぼ作業が完了したとの連絡が
りたのでお知らせいたします。
がとうございました。

新しい環を！
女性のみなさんに
注目しています

荘園遺跡と共存し、住民参加による
地域づくりを進めるうえで、女性
のみなさんが注目されています。これ
までも「夢づくりの会」などにはいつ
多くの方々にご参加いただき、女性
の観点から多数のご意見をいただい
ります。それが貴重なご意見を本
のより良い地域づくりに活用し、また
積極的な参画をいただくため、女性
のみなさんの主体的な取り組みが必
なっています。「夢づくりの会」を行
っているいま、ひとつのよい機会と
なり、新しい女性の環ができること
期待されています。

今後、みなさまのご意見をいただき
ながら取り組んでいきたいと考えま
すので、ご協力をお願いいたします。

「夢づくり」に向け発進！

十一月二十五日(木)午後七時より、生活
改善センターにおいて、第一回の「骨寺村
荘園の里夢づくりの会」が、地元三十八名
(うち女性十六名)、支援機関、大学関係者
を合わせ約七十名の参加のもとで開催され
ました。

はじめに講師の岩大農学部広田教授
より「本寺地区の地域おこしのために
誰が、いつ、何をやるか」をみんな
で考えることが「夢づくりの会」のねら
いです。」と今回の取り組みについて
説明がありました。そしてこれまでに
出された荘園遺跡の改善策や地域おこ
しのアイデアを確認した後、八つの班
に分かれ「だれが、いつ、重要度は、
実現可能性は」という視点で検討しま
した。各班では「地元で」、「協働で」、
「行政で」など、役割分担をそれぞれ意
見を述べながら導きだし、また、重要
度、緊急度なども検討することにより、
参加したみなさんは、より具体的に実
施に向けたイメージを頭に描くことが
できました。その後、出された意見を
まとめ班ごとに発表しました。

次回の十二月九日には、今回の意見
を整理し、実践方法と、優先順位、実
行体制などを計画して行く予定です。
みなさんの積極的なご参加をお願いし
ます。